

太陽 ASG 拝啓理事長先生

第 194 号 この資料は全部お読みいただいて 2 分 30 秒です。

今回のテーマ： 内部統制の具体例③ 有価証券

低金利が長期間にわたり、収入確保を確実にするため、預貯金から高利回りの債券、公社債投資信託、株式等の有価証券への切り替えをする学校が増えています。

今回は、有価証券の内部統制について説明します。

具体例③ 有価証券

有価証券運用規程の整備	有価証券運用規程を定め、その規定に従って厳格に運用する必要があります。 有価証券運用規程には、少なくとも以下の項目を定めておく必要があります。また、可能な限り、顧問として有価証券に詳しい専門家をおくことが望まれます。 <ul style="list-style-type: none">・ リスクに応じた運用対象資産の範囲・運用期間・運用金額の制限・ 運用を担当する部署、運用責任者、責任部署・ 資金運用計画、購入、売却等に関する手続・ 運用に関する報告制度（理事会など）・ 起案承認、運用状況の把握・報告、処分に関する手続および様式
購入・売却	購入および売却は、承認された資金計画に基づき、運用規程定められた手続によって行ないます。 規程に定められた限度を超過していないことを確かめた上で行います。 購入に当たっては、証券市場の状況、経済の状況等を勘案する必要があります。 証券会社等から、新商品を勧められた場合には、その証券の性格・特性を研究し、メリット・リスクを十分理解した上で行う必要があります。顧問のアドバイスも必要です。 また、購入理由を文書に残しておく必要があります。 記名式の有価証券は、学校法人名義にする必要があります。 有価証券の取引にかかる書類（有価証券売買約定書、有価証券受渡計算書など）は、銘柄ごと、日付順に整理・保管します。
日常の保管	証券は証券会社や金融機関への保護預けなどを利用し、学校で管理しないようにします。 学校で管理する場合には、現物を学校内で管理する場合、預金通帳等と同様に堅牢な金庫で保管し、また取扱責任者をあらかじめ定めておきます。 毎月証券市場の時価情報を得て、帳簿価額と時価を比較した表を作成し、理事会等責任ある部署へ報告する必要があります。 有価証券の増加・減少・利払いの事実と内容を、発生の都度、売買計算書等の記録に基づいて、有価証券台帳に記録します。有価証券台帳には、銘柄、数量・単価、額面金額、取得価額、取得年月日、利払日、利率、満期日、売却(償還)金額、売却(償還)差額、計上科目等を記録します。
残高管理	有価証券台帳の記録と現物の一致を定期的に確かめます。この場合は、上席者が同席し、確認したことを記録に残しておく必要があります。 上場有価証券の場合には、定期的（例えば月末ごと）に有価証券の時価を確認し、記録しておく必要があります。時価の下落が著しい場合には、評価減の手続をとる必要があります。

お見逃しなく！

有価証券は、時価の変動があり預金に比べて運用リスクの高い資産です。したがって、リスクを防御するために運用規程を定め、その規定に従って厳格に運用する必要があります。